

Ⅶ エコーガイド下CVC挿入推進チーム



エコーガイド下CVC挿入推進チームは、平成22年に複数科の医師と医療安全管理部との8名のメンバーで活動を開始した。28年度は、麻酔科・ICU・救命救急センター・内科・外科の医師12名、医療人育成センター1名と医療安全管理部3名、計16名のチームメンバーで活動、29年度からは医師が増え20名で活動を行っている。

29年度は毎回約2時間の手技講習会（講義・ハンズオン・手技チェック）を4回実施し、受講医師は33名であった。また卒後臨床研修センターの1年目研修医には2回の手技講習会を実施し、49名、レジデント1名が受講した。また、今年度は「エコーガイド下中心静脈穿刺認定医カード」を16名に発行した。

中心静脈カテーテル挿入時の合併症調査を実施し、延挿入数2,083症例に対し、合併症は15症例（発生率0.7%）であった。また、認定医不在の場合にはチームメンバーが支援する体制を確立しており、17件の挿入、もしくは立ち合い依頼があった。依頼診療科は泌尿器科、整形外科、乳腺・内分泌外科などの計9科であった。

合併症発生時には医療安全管理部とエコーガイド下CVC挿入推進チームでミーティングを実施し、対応を協議した。

一昨年、合併症発生率低下目的に導入したPICC（末梢挿入型中心静脈カテーテル）については、PICCカテーテルの普及推進に向け講習会を開催し、「PICC認定医カード」を12名に発行した。

Ⅶ-1 29年度穿刺部位別合併症

(件)

区分	気胸	動脈穿刺	血腫	動脈穿刺腫	動脈カテーテル留	内カテーテル置入	カテーテル先端位置不適	その他	合計
内頸静脈		2					5		7
鎖骨下静脈	1						2		3
大腿静脈		1					1		2
その他		1				1	1		3
合計	1	4	0	0	0	1	9	0	15

Ⅶ-2 29年度診療科別穿刺件数と合併症

区分	件数	合併症(件)	発生率(%)	区分	件数	合併症(件)	発生率(%)
循環器内科	32			乳腺・内分泌外科	2		
冠疾患内科	87			心臓血管外科	25		
血液内科	93			呼吸器外科	5		
リウマチ・膠原病内科	20			整形外科	10		
糖尿病・内分泌・代謝内科	1			形成外科	1		
肝・胆・膵内科	18			脳神経外科	11	1	9.1
消化管内科	89	1	1.1	皮膚科			-
炎症性腸疾患内科	190	3	1.6	泌尿器科	9		
呼吸器内科	8			産科婦人科			-
神経内科	9			耳鼻咽喉科・頭頸部外科	17		
腎・透析内科	71			放射線科	32		
小児科	4			麻酔科・疼痛制御科	480	2	0.4
NICU	64			歯科口腔外科	1		
肝・胆・膵外科	17			輸血・細胞治療科	45		
小児外科	4			ペインクリニック部			-
上部消化管外科	16			救命救急センター	344	3	0.9
下部消化管外科	34			精神科神経科			-
炎症性腸疾患外科	104			ICU	240	5	2.1
				合計	2,083	15	0.7